四日市市立
港中学校だより

青葉匂う

令和５年11月15日
No.12 発行：校長

11 月半ばとなり、全国の紅葉名所から見頃のたよりが届く季節となりました。しかし、つい最近まで夏日に迫る日があったのに、先日から急に寒くなって、今年は秋を楽しむ期間が短いのかもしれません。

また、今年はインフルエンザの流行が早くも始まっていて、市内の小中学校でも学級閉鎖、学年閉鎖を行ったところがたくさんあります。本校ではまだ流行の兆しはありませんが、生徒たちには体調が悪いときは早めに学校を休むなど、体調管理に気を付けてほしいと思います。保護者の皆様もどうぞご自愛ください。

文 化 祭　～充実した１日でした～　　11月6日

今年度も諏訪太鼓の勇壮な演奏から始まりました。当日はたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

午前中の合唱コンクールでは、この日のために各学級が毎日一生懸命練習に取り組んできました。なかなか上手くいかないこともあったようですが、本番ではそれを乗り越え、学級が一丸となった心のこもった素晴らしい合唱になったと思います。

また、吹奏楽部の演奏では今年も全校生徒が大いに盛り上がりました。他にも午後から英語スピーチコンテスト、弁論の発表があり、各階には文化部や各教科の学習成果などの展示がありました。盛沢山の１日でしたが、これまでの練習や作品制作などに取り組んできた成果が十分に発揮され、表現する人、観る人、会場が一体となって感動が伝わる文化祭になったと思います。そして、このような成功にはご家庭でのご支援もあったことと拝察いたします。ありがとうございました。

三泗地区中学校駅伝競走大会　　11月1日

この大会は三泗地区の公立・私立中学校から学校代表が集まり、女子の部は５区間(10.75km)、男子の部は６区間(18.16km)で競います。会場は四日市市中央陸上競技場トリムコースで行われました。

本校は陸上部がないため、全校生徒から選抜された生徒で駅伝部を結成します。今年は男子９名、女子 15 名の生徒が駅伝部として活動し、10 月中旬から朝と放課後に走り込んできました。結果は、男子 26 位(27 校中)、女子９位（26 校中）でしたが、結果はともあれ、本番まで厳しい練習を一生懸命によくやり抜いたことが何よりも素晴らしかったです。駅伝部の皆さん、よく頑張った！

土曜授業　～浜田地区防災訓練～　11月11日

今年も土曜授業として浜田地区防災訓練に参加しました。地域からは約200名の方々が参加し、盛大なものとなりました。講師として四日市市消防本部の消防士さんと女性消防団サルビアの皆さんにお越しいただきました。

今年の訓練は「災害時救助救出実働訓練」です。これには４種類の訓練があり、参加者を４つのグループに分けて、それぞれ20分間ずつ体験しました。

【AED・心肺蘇生法】

心肺蘇生法のやり方を教えていただいたのち、人形を使って実践しました。また、AEDの使い方も教えていただきました。

【応急措置訓練】

ビニール袋やラップなど、身近なものを使って怪我などの応急措置をする方法を教えてもらい、参加者同士で実際にやってみました。

【救出訓練】

バールなどを使って倒壊物から救出する方法を教えてもらいました。てこの原理を使えば、１トンもある瓦礫を動かせることを知りました。

【発電機稼働体験】

防災倉庫の中に備えられている発電機の稼働体験を行いました。家庭用のガスボンベを使って発電機が動くことを知りました。

【炊き出し訓練】

４つの訓練のほかに一部の生徒たちが炊き出し訓練を行い、アルファ米をお湯で戻して食べられる状態にし、参加者に配付できるようパックに詰めました。中学生はお昼ごはんとして、地域の皆さんにはお土産として持って帰ってもらいました。

最後に三重大学の川口教授の講義がありました。お話の一部を紹介します。

○“防災力”は“想像力”、災害はめったに起こらないからこそ、起こったときのことを想像して備えることが大切。

○　もし、家に居たときに地震が起こったとしたら、危険だと思うもの（タンスが倒れるとか）をリストアップし付箋を貼る。対策とは“危険でない状態にする”こと。（タンスが倒れないように補強するとか）　対策済になったときに付箋をとる。

○「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板web171」を利用するためには、家族の中の誰かの電話番号をパスワードとして決めておく必要がある。誰の電話番号をパスワードにするのか決めておくとともに、その電話番号を紙にも書いておくこと。

○　津波が来たら少しでも高いところに逃げる。そのとき、中学生は地域の人を助けてほしい。中学生が動けば地域の大人も動く。